

△編集後記▽

本誌も号数を重ねて、十四号となり、今回も各位の協力により論文三編と資料翻刻を掲載できました。大方のご批評を賜りたく存じます。

執筆者のうち、荒井真理亜は、平成九年度に相愛大学人文学部（日本文化学科鳥井ゼミ）を卒業ののち、関西大学大学院に進み、現在博士後期課程に在籍している新進です。また、俊頼髄脳研究会は、本学の山本和明、鈴木徳男が事務局（日本語日本文学研究室気付）となり、同学の方々に参加をいただき、ここ数年來、輪読会などの研究活動を重ねています。昨今の短期大学は、故北谷先生も心を砕いていましたが、確かに厳しい状況にあります。しかし、キャンパスには相愛わらず学生の笑顔があるのも事実です。そうした若さをいかに受けとめるか、その方途を考えております。

（S）

△執筆者一覧▽

橋本 雅之 本学助教授
中西 健治 相愛大学教授
荒井真理亜 関西大学大学院
俊頼髄脳研究会

相愛国文 第十四号

平成十三年三月二五日 印刷

平成十三年三月三十日 発行

編集・発行 相愛女子短期大学日本語日本文学研究室

〒559-0033 大阪市住之江区南港中四丁目一

Tel 〇六―六六一二―五九〇〇（代）

印刷所 和泉書院

〒543-0002 大阪市天王寺区上汐五―三―八

Tel 〇六―六七七一―一四六七